



|                  |                                    |
|------------------|------------------------------------|
| ①職場ムード分布         | 受検者が選択した感情                         |
| ②ハイパフォーマー分析      | 受検者のEQ総合値とサクセスファクター総合値の分布          |
| ③EQ探求三領域分析       | 受検者のEQ探求領域平均値と日本人平均比較              |
| ④EQコンピテンシー分析     | 受検者のEQコンピテンシー平均値と日本人平均比較           |
| ⑤サクセスファクター分析     | 受検者のサクセスファクター平均値と日本人平均比較           |
| ⑥ワークライフバランス分析    | 受検者のソーシャルライフとパーソナルライフの分散分布         |
| ⑦職場幸福度分析         | 受検者の満足感と成就感からの分析                   |
| ⑧生産性分析           | 受検者の楽観性と内発動機からの分析                  |
| ⑨事故防止準備度分析       | 受検者の感情リテラシーと自己パターンの認識からの分析         |
| ⑩健康経営度分析         | 受検者の身体的健康感と心身のバランス感からの分析           |
| ⑪共鳴型リーダーシップ分析    | 受検者の共感的理解、ノーブルゴールの追求、感情のナビゲートからの分析 |
| ⑫ブリーフ・プロファイル人数比* | 受検者のブレインスタイル別人数比と構成比               |

\*「BBP：ブレインスタイル分布」はSEIリーダーシップレポートおよびブレイン・ブリーフ・プロファイルの両方の受検を設定、完了している場合に作成します。  
(SEIリーダーシップレポートのみ、ブレイン・ブリーフ・プロファイル受検のみのプロジェクトでは分析レポートは作成できません。)

EQとは、感情と思考を効果的にブレンドし、目指す成果に向けて感情をナビゲートする能力。

シックスセカンズの諮問委員の一人、ピーター・サロベイ（第23代イェール大学学長）とジョン・メイヤー（ニューハンプシャー大学教授）は彼らの共著「Model of Emotional Intelligence」（1997）でEQ（感情知能）について次のように定義しています。

- 感情知能は感情を正確に捉え、評価し、表現する能力
- 次に思考力を高めるために感情にアクセスする能力
- 感情の働きについて理解する能力
- そして情緒的、知的の双方の側面で成長を促すために感情を調節し、活用する能力

EQ（感情知能）とは、自己認識や自己管理を通じて、目指すべき成果を得るために感情と思考を調和させたり、感情を適切な方向にナビゲートしながら知的に活用させる能力なのです。



ピーター・サロベイ



ジョン・メイヤー

シックスセカンズのEQ検査「SEI」はEQ（感情知能）を日常において活用するための指針とするために開発された検査です。

## 検査概要

設問： 77問

標準回答時間： 8分

スコア算出母集団： 75,000件

69か国を対象に任意抽出



EQ感情知能検査、SEIは、米国教育学会（AERA）・米国心理学会（APA）・全米教育測定協議会（NCME）の3団体が定める心理検査Level:Bに定められています。



## シックスセカンズでは3つの探求領域

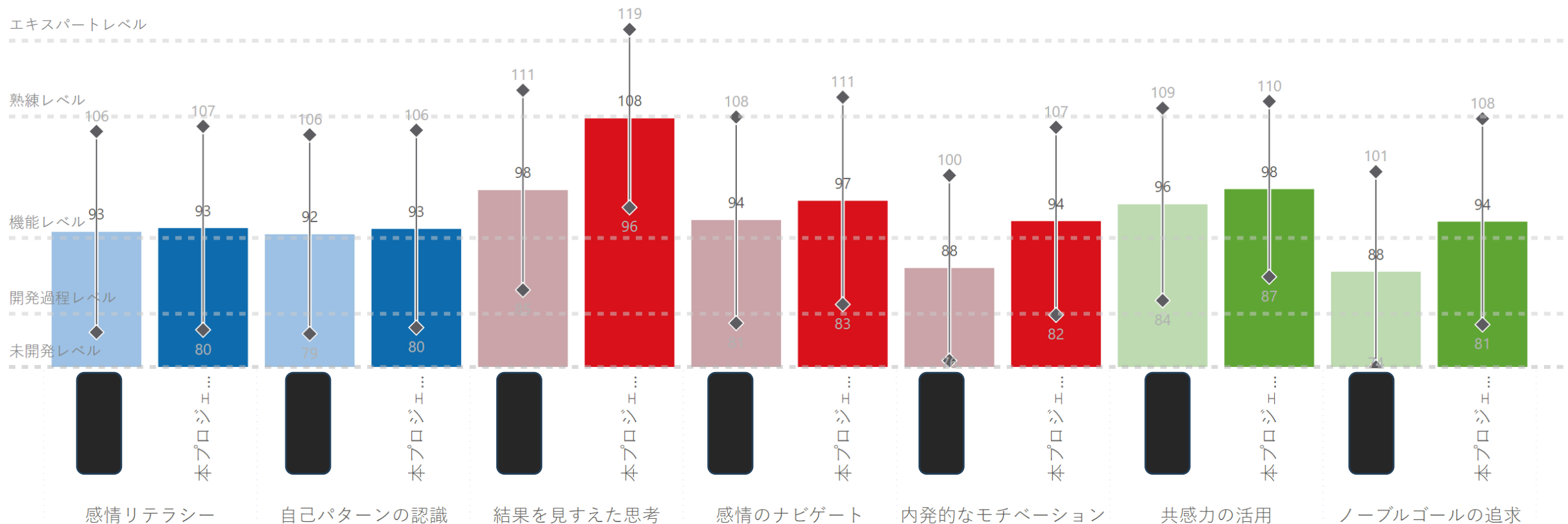
- 知る:**自己認識を高める自己会話 「今どのような気持ちなのか」  
**選ぶ:**自己管理を高める自己会話 「どのような選択肢があるのか」  
**活かす:**自己方向づけを高める自己会話 「結局どうありたいのか」  
 を心がけることがEQ能力を活用することと定義しました。

そして、3つの探求をさらに支えるEQコンピテンシー（行動特性）として「感情リテラシー」をはじめとする右に示す8つのEQコンピテンシーを定義しました。

| KCG | コンピテンシー     | 説明                                                    |
|-----|-------------|-------------------------------------------------------|
| 知る  | 感情リテラシー     | 単純な感情状態から複雑なものまで、正確に認識解釈できる能力                         |
| 知る  | 自己パターンの認識   | 習慣的に繰り返す反応や行動を認識できる能力                                 |
| 選ぶ  | 結果を見すえた思考   | 自分がとろうとする行動がもたらすメリットとデメリットに関し、行動を取る前に考えることができる能力      |
| 選ぶ  | 感情のナビゲート    | 感情を戦略的なリソース（情報資源）として捉え、その感情を評価し、活かしたり、変化させたりする能力      |
| 選ぶ  | 内発的なモチベーション | 報酬や見返りなど外因性によるものではなく、個人の価値観や責任感など内から湧き上がるエネルギーを生み出す能力 |
| 選ぶ  | 楽観性の発揮      | 希望や可能性を信じ、自ら前向きな展望をもてる能力                              |
| 活かす | 共感力の活用      | 周囲の人の感情を理解し、適切に対応する能力                                 |
| 活かす | ノーブルゴールの追求  | 日々の選択を、自己の強く大きな目的と結びつける姿勢                             |

# EQ8コンピテンシー平均値 **SAMPLE**

|              | 感情リテ<br>ラシー | 自己パター<br>ンの認識 | 感情のナビ<br>ゲート | 内発的なモチ<br>ベーション | 楽観性の<br>発揮 | 共感力の<br>活用 | ノーブルゴ<br>ールの追求 |
|--------------|-------------|---------------|--------------|-----------------|------------|------------|----------------|
| ▼<br>本プロジェクト | 93          | 93            | 97           | 94              | 95         | 98         | 94             |
| ██████████   | 93          | 92            | 94           | 88              | 89         | 96         | 88             |



EQを世界的に普及させたダニエル・ゴールマンはその著書「EQ-心の知能指数」の『第三章-秀才がつまづくとき』の中で次のように記述しています。

「心理学の公然の秘密として、学校のテスト、知能検査、SAT（大学進学適性試験）など広く世間で信用されている評価基準は人生における成功度の予言としてはあまり当てにならない、という事実がある。・・・(中略)・・・人生を成功に導く要因のうち、IQが関係するのは多く見積もってもせいぜい二十パーセントどまりだろう。・・・(中略)・・・」

シックスセカンズはEQが直接人生の成功に寄与するのではなく、下記の4つのファクターが導いていると考え、4つのファクターとEQの関係を調査してきました。

その結果、EQのサクセスファクターへの説明率がどの国でも、またどの時期でも0.5~0.6の数値を出すことを突き詰めました。換言すると、EQを高めることでサクセスファクターが高まり、より自分らしい日常や人生を築くことができることがわかってきました。

| サクセスファクター<br>▲ | 説明                     |
|----------------|------------------------|
| 達成意欲           | 結果を出すために物事をやり遂げようとする能力 |
| 対人関係への意識       | 良好で強固な人間関係を構築する能力      |
| ウェルビーイング       | エネルギーや機能を高いレベルで保つ能力    |
| クオリティオブライフ     | より良く生きることで真の幸福を創造する能力  |

受検者数：173人

受検時期：2025/01/01 ～ 2025/12/26

活かすべき「強み」は以下の3つを得ました。

- 結果を見すえた思考（選ぶ）：よく考えて決定する
- 共感力の活用（活かす）：周囲の人と気持ちを通わせる
- 感情のナビゲート（選ぶ）：自分の感情を管理する

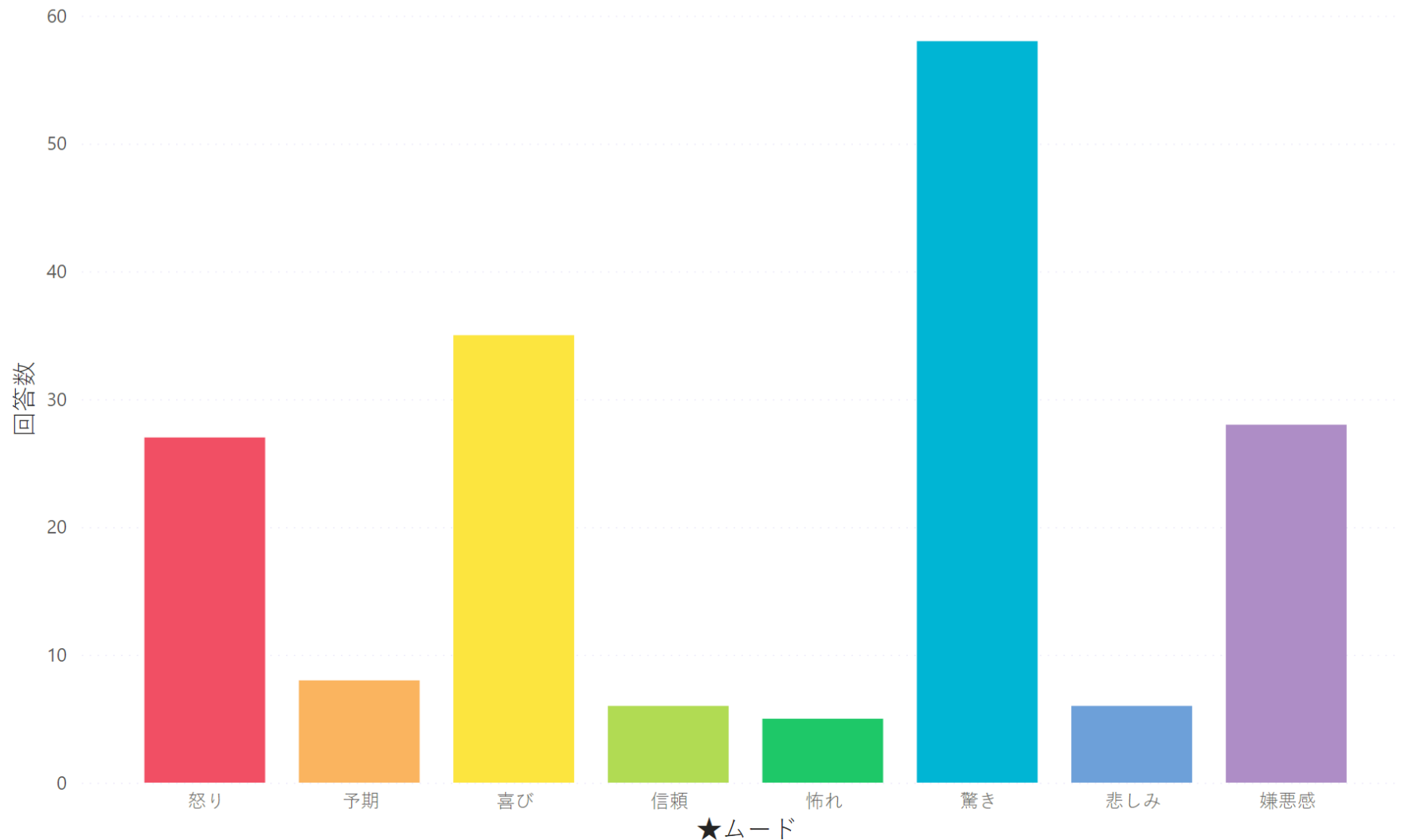
また、克服する課題としては以下の3つを得ました。

- ノーブルゴールの追求（活かす）：自分の考え方や価値観と足並みをそろえる
- 感情リテラシー(知る)：物事の本質を見る
- 自己パターンの認識(知る)：自分の反応を予測する

最近の気持ち（本プロジェクト）

| ★ムード | 人数  | %       |
|------|-----|---------|
| 怒り   | 27  | 15.61%  |
| 予期   | 8   | 4.62%   |
| 喜び   | 35  | 20.23%  |
| 信頼   | 6   | 3.47%   |
| 怖れ   | 5   | 2.89%   |
| 驚き   | 58  | 33.53%  |
| 悲しみ  | 6   | 3.47%   |
| 嫌悪感  | 28  | 16.18%  |
| 合計   | 173 | 100.00% |

選択した感情別回答  
本プロジェクト



最近の気持ち

| ★ムード | 人数 | % |
|------|----|---|
| 怒り   |    |   |
| 予期   |    |   |
| 喜び   |    |   |
| 信頼   |    |   |
| 怖れ   |    |   |
| 驚き   |    |   |
| 悲しみ  |    |   |
| 嫌悪感  |    |   |
| 合計   |    |   |

# KCG平均値の [REDACTED] との比較

|                 | EQ総合値 | 知る | 選ぶ | 活かす |
|-----------------|-------|----|----|-----|
| ▲<br>[REDACTED] | 93    | 92 | 92 | 92  |
| 本プロジェクト         | 96    | 93 | 98 | 96  |

受検者数

本プロジェクト [REDACTED]

173人 [REDACTED]

## KCG比較

・本プロジェクト

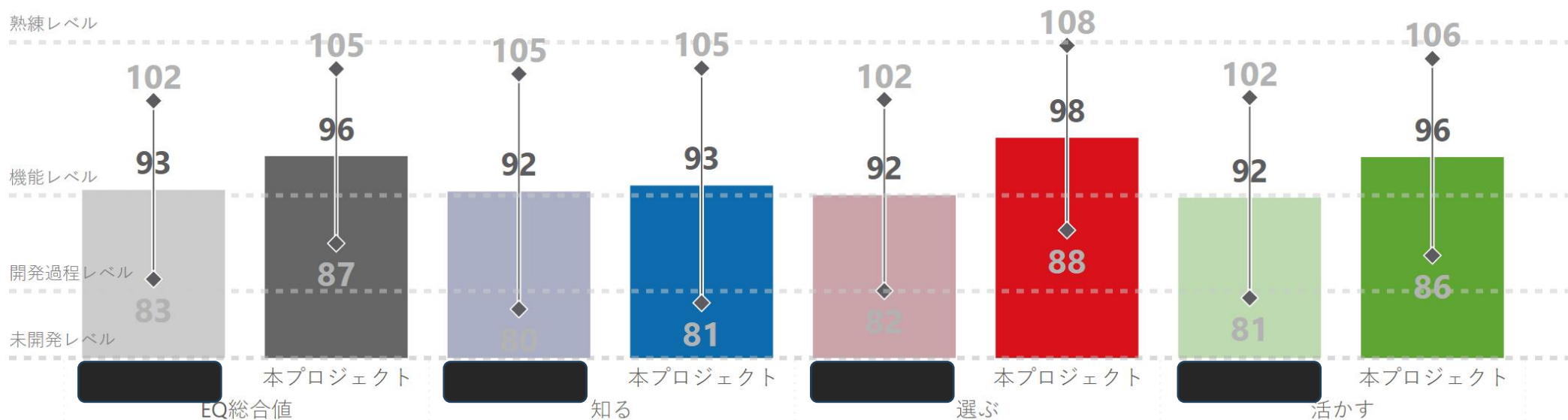
エキスパートレベル

熟練レベル

機能レベル

開発過程レベル

未開発レベル



|                 | 達成意欲 | 対人関係<br>への意識 | ウェルビー<br>イング | クオリティ<br>オブライフ |
|-----------------|------|--------------|--------------|----------------|
| ▲<br>[Redacted] | 91   | 96           | 95           | 92             |
| 本プロジェクト         | 96   | 97           | 99           | 96             |

受検者数

|         |            |
|---------|------------|
| 本プロジェクト | [Redacted] |
| 173人    | [Redacted] |

## サクセスファクター比較

本プロジェクト

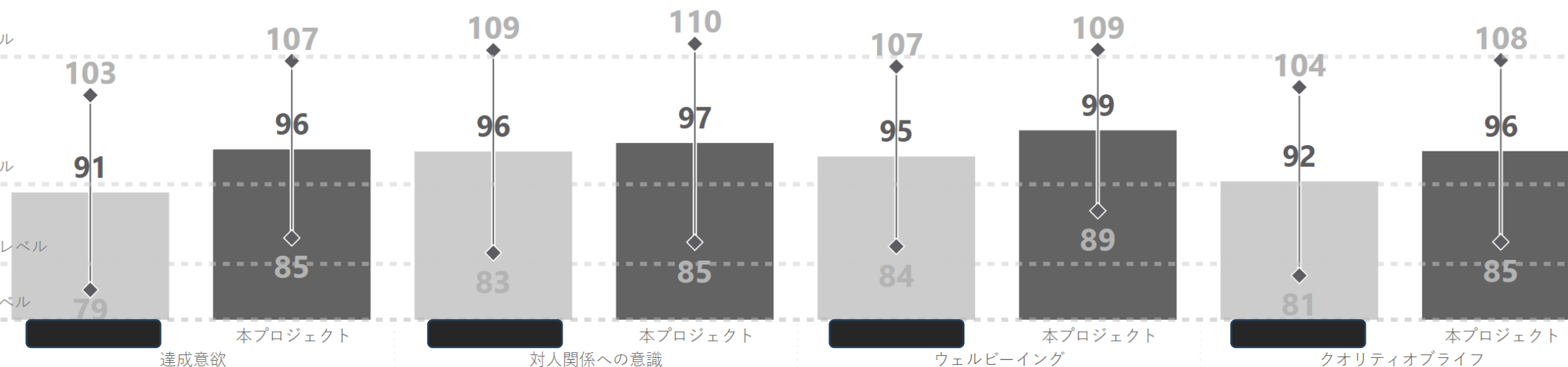
エキスパートレベル

熟練レベル

機能レベル

開発過程レベル

未開発レベル



## 本プロジェクト

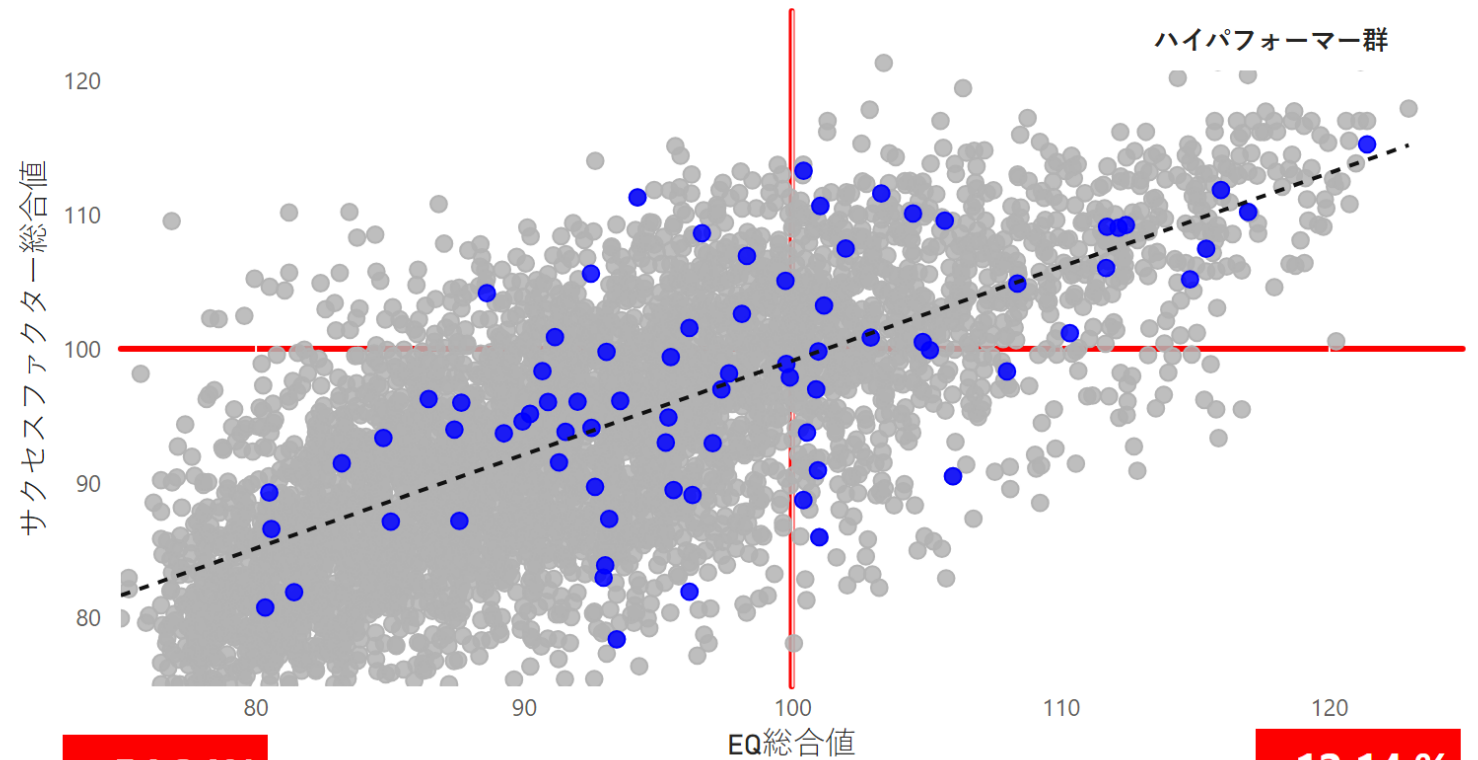
| ▲                  | 人数  | 構成比 (%) |
|--------------------|-----|---------|
| 第1象限 (高サクセス & 高EQ) | 36  | 20.81%  |
| 第2象限 (高サクセス & 低EQ) | 22  | 12.72%  |
| 第3象限 (低サクセス & 低EQ) | 94  | 54.34%  |
| 第4象限 (低サクセス & 高EQ) | 21  | 12.14%  |
| 合計                 | 173 | 100.00% |

12.72 %

20.81 %

『データ区分』 ★, EQ総合値 および サクセスファクター総合値

● 本プロジェクト



| ▲                  | 人数 | 構成比 (%) |
|--------------------|----|---------|
| 第1象限 (高サクセス & 高EQ) |    |         |
| 第2象限 (高サクセス & 低EQ) |    |         |
| 第3象限 (低サクセス & 低EQ) |    |         |
| 第4象限 (低サクセス & 高EQ) |    |         |
| 合計                 |    |         |

## 本プロジェクト

|                | 人数  | 構成比 (%) |
|----------------|-----|---------|
| 第1象限 (WLB重視)   | 38  | 21.97%  |
| 第2象限 (パーソナル重視) | 26  | 15.03%  |
| 第3象限 (WLB軽視)   | 78  | 45.09%  |
| 第4象限 (ソーシャル重視) | 31  | 17.92%  |
| 合計             | 173 | 100.00% |

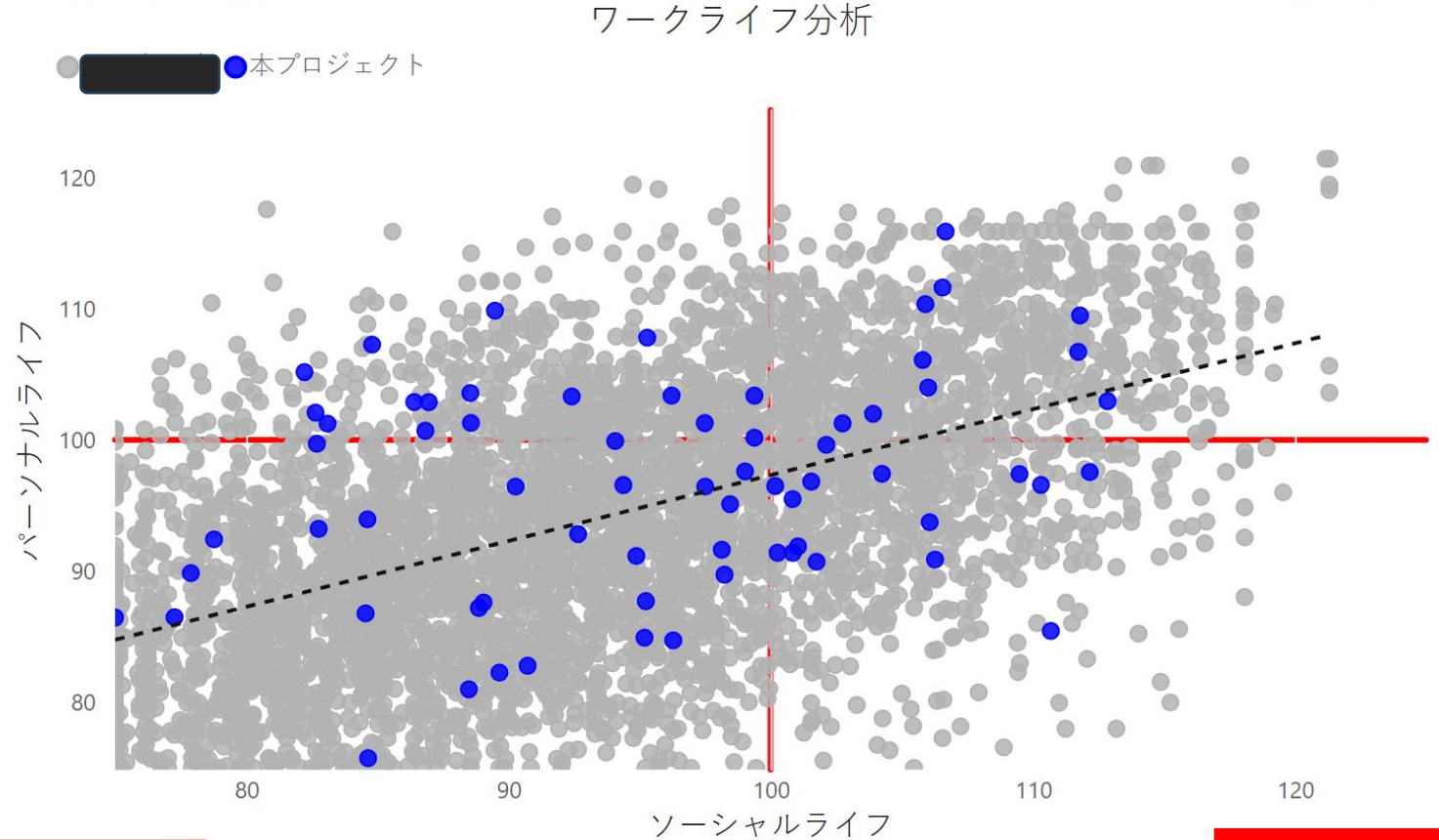
|                | 人数 | 構成比 (%) |
|----------------|----|---------|
| 第1象限 (WLB重視)   |    |         |
| 第2象限 (パーソナル重視) |    |         |
| 第3象限 (WLB軽視)   |    |         |
| 第4象限 (ソーシャル重視) |    |         |
| 合計             |    |         |

15.03%

パーソナルライフ重視

21.97%

WLB重視



45.09%

WLB軽視

17.92%

ソーシャルライフ重視

## 本プロジェクト

| 職場幸福度           | 人数  | %       |
|-----------------|-----|---------|
| 第1象限（高成就 & 高満足） | 55  | 31.79%  |
| 第2象限（高成就 & 低満足） | 39  | 22.54%  |
| 第3象限（低成就 & 低満足） | 63  | 36.42%  |
| 第4象限（低成就 & 高満足） | 16  | 9.25%   |
| 合計              | 173 | 100.00% |

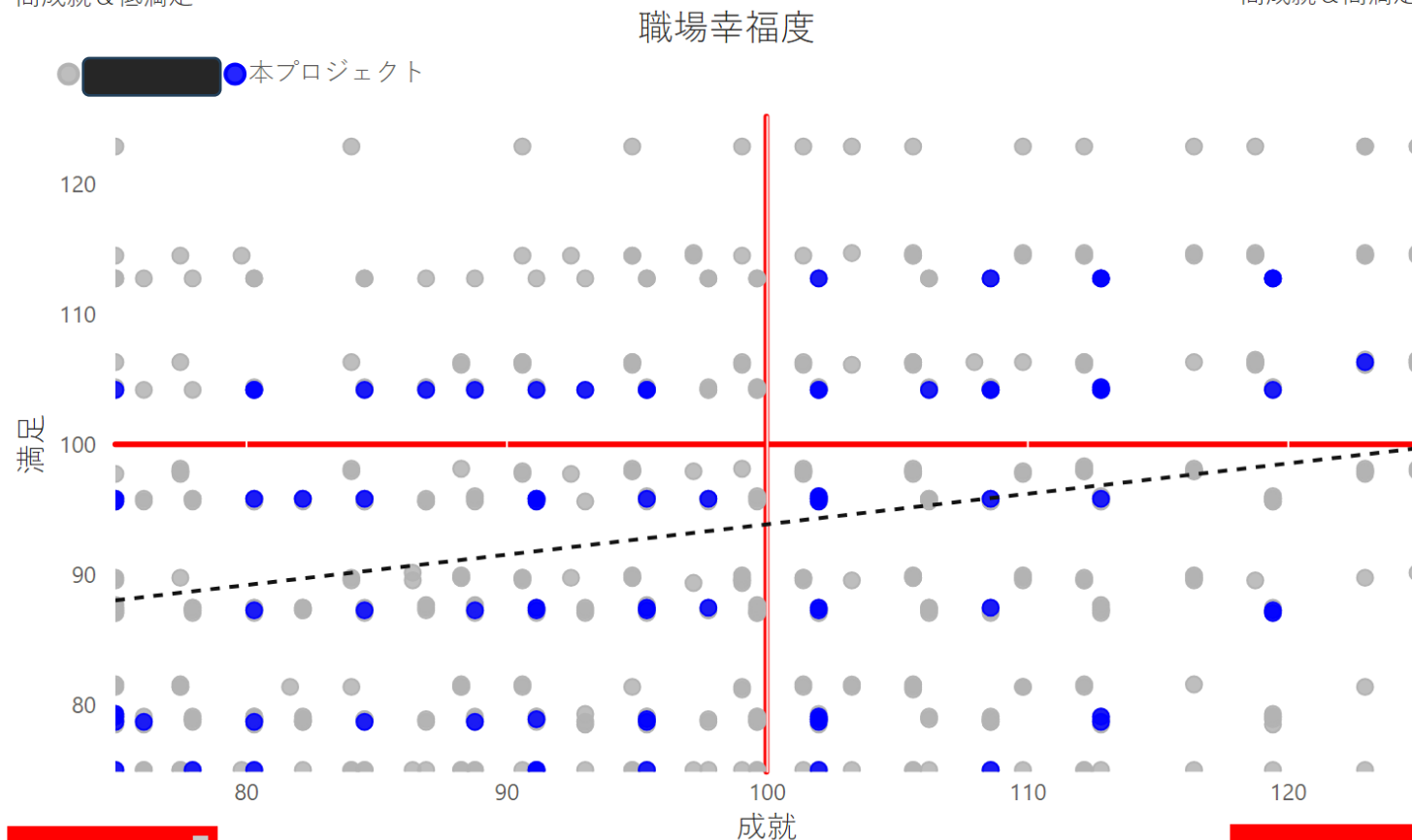
| 職場幸福度           | 人数 | % |
|-----------------|----|---|
| 第1象限（高成就 & 高満足） |    |   |
| 第2象限（高成就 & 低満足） |    |   |
| 第3象限（低成就 & 低満足） |    |   |
| 第4象限（低成就 & 高満足） |    |   |
| 合計              |    |   |

22.54%

高成就 & 低満足

31.79%

高成就 & 高満足



36.42%

低成就 & 低満足

9.25%

低成就 & 高満足

## 本プロジェクト

| 象限生産性           | 人数  | 構成比 (%) |
|-----------------|-----|---------|
| 第1象限 (能動的行動)    | 38  | 21.97%  |
| 第2象限 (楽観低・内モチ高) | 23  | 13.29%  |
| 第3象限 (受動的行動)    | 96  | 55.49%  |
| 第4象限 (楽観高・内モチ低) | 16  | 9.25%   |
| 合計              | 173 | 100.00% |

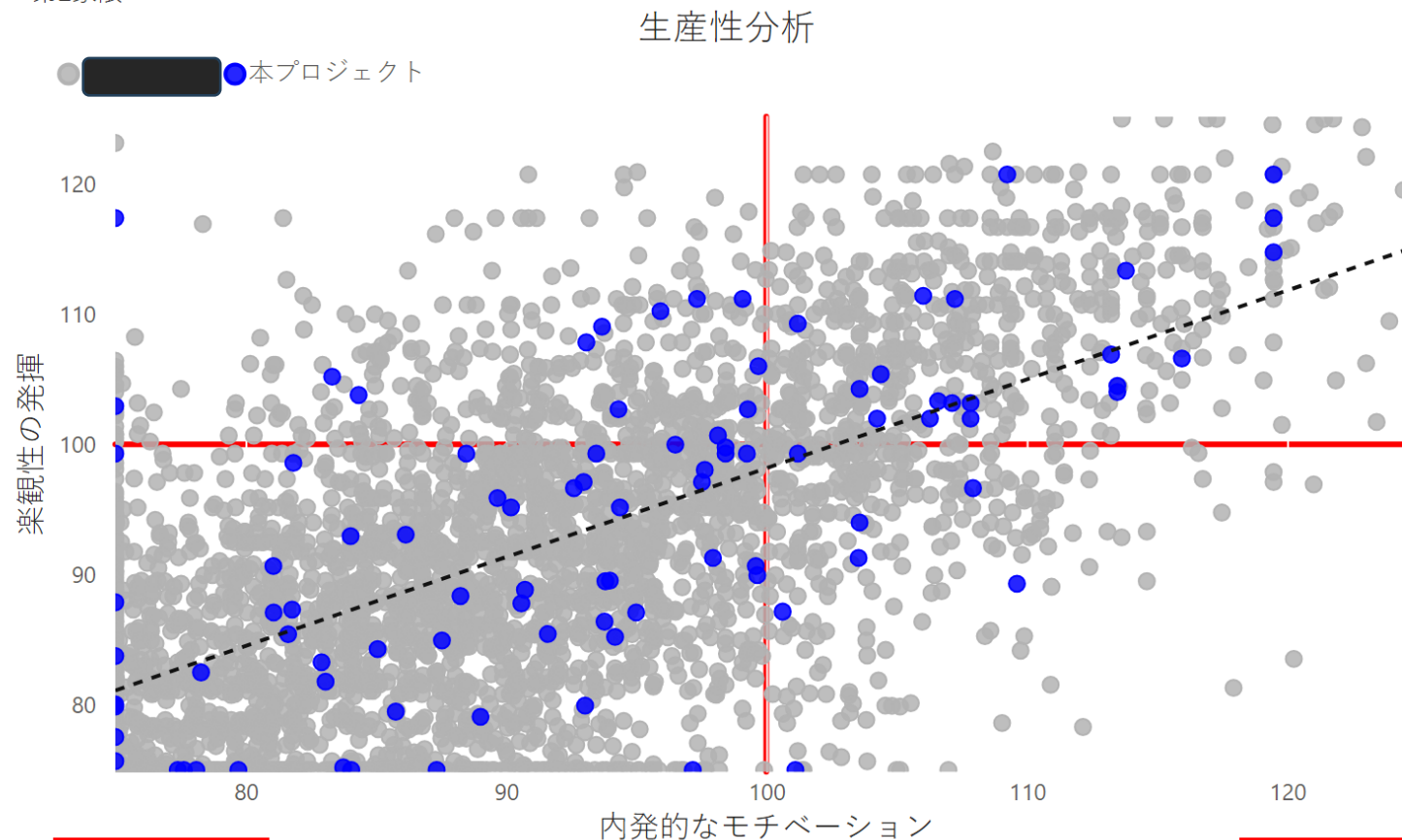
| 象限生産性           | 人数 | 構成比 (%) |
|-----------------|----|---------|
| 第1象限 (能動的行動)    |    |         |
| 第2象限 (楽観低・内モチ高) |    |         |
| 第3象限 (受動的行動)    |    |         |
| 第4象限 (楽観高・内モチ低) |    |         |
| 合計              |    |         |

9.25%

第2象限

21.97%

能動的行動群



55.49%

受動的行動群

13.29%

第4象限

本プロジェクト

| 象限事故防止準備度             | 人数  | 構成比 (%) |
|-----------------------|-----|---------|
| 第1象限 (高リテラシー & 高自己認識) | 36  | 20.81%  |
| 第2象限 (高リテラシー & 低自己認識) | 23  | 13.29%  |
| 第3象限 (低リテラシー & 低自己認識) | 100 | 57.80%  |
| 第4象限 (低リテラシー & 高自己認識) | 14  | 8.09%   |
| 合計                    | 173 | 100.00% |

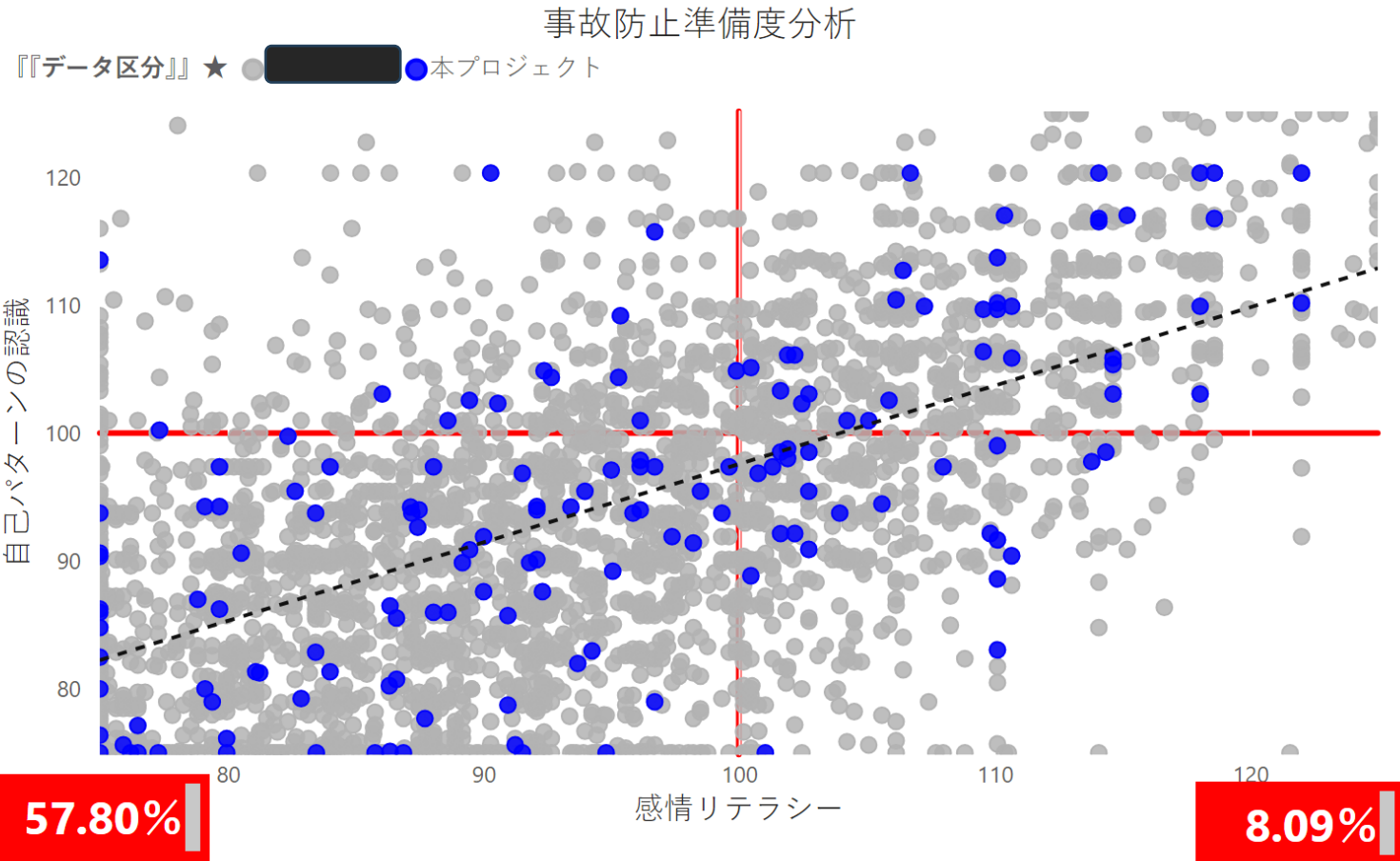
| 象限事故防止準備度             | 人数 | 構成比 (%) |
|-----------------------|----|---------|
| 第1象限 (高リテラシー & 高自己認識) |    |         |
| 第2象限 (高リテラシー & 低自己認識) |    |         |
| 第3象限 (低リテラシー & 低自己認識) |    |         |
| 第4象限 (低リテラシー & 高自己認識) |    |         |
| 合計                    |    |         |

13.29%

第2象限

20.81%

第1象限



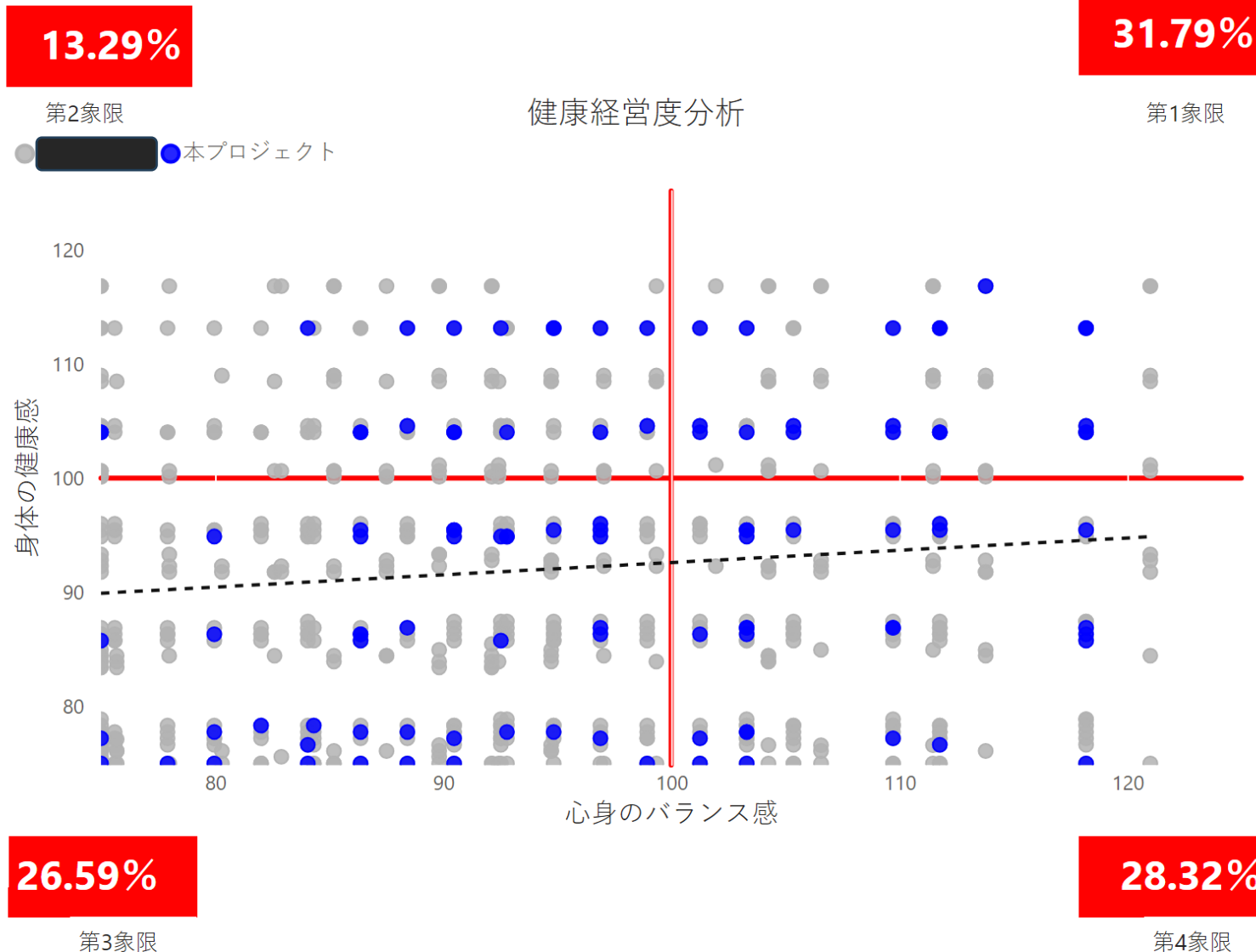
第3象限

第4象限

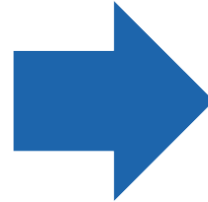
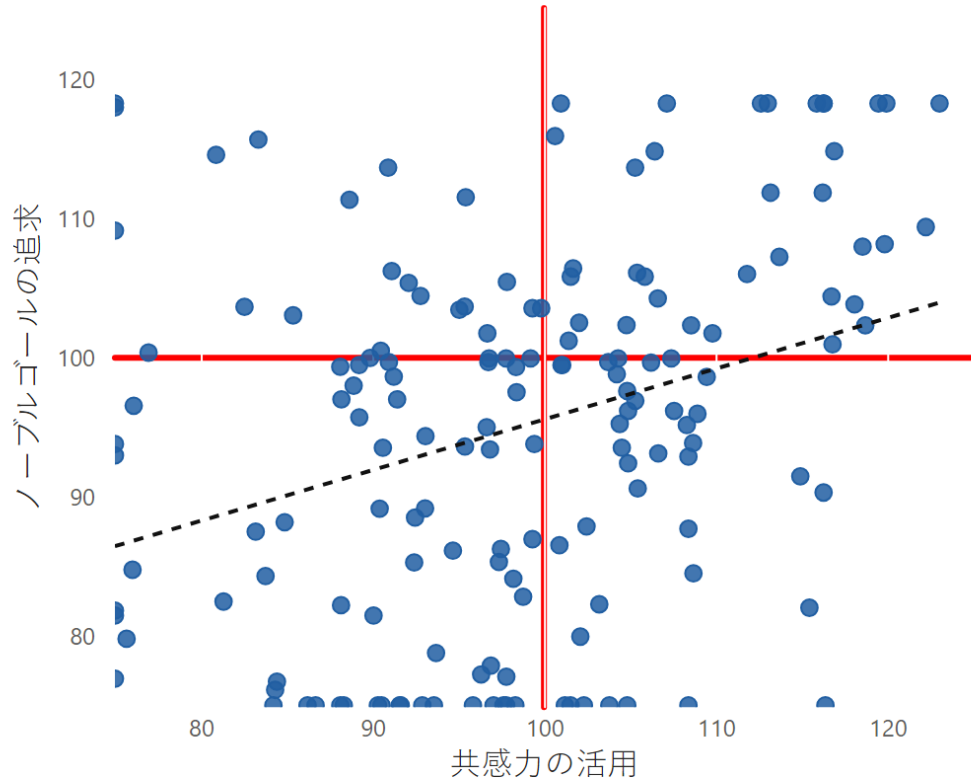
## 本プロジェクト

| 象限健康経営               | 人数  | 構成比 (%) |
|----------------------|-----|---------|
| 第1象限 (高バランス & 高健康意識) | 55  | 31.79%  |
| 第2象限 (低バランス & 高健康意識) | 23  | 13.29%  |
| 第3象限 (低バランス & 低健康意識) | 46  | 26.59%  |
| 第4象限 (高バランス & 低健康意識) | 49  | 28.32%  |
| 合計                   | 173 | 100.00% |

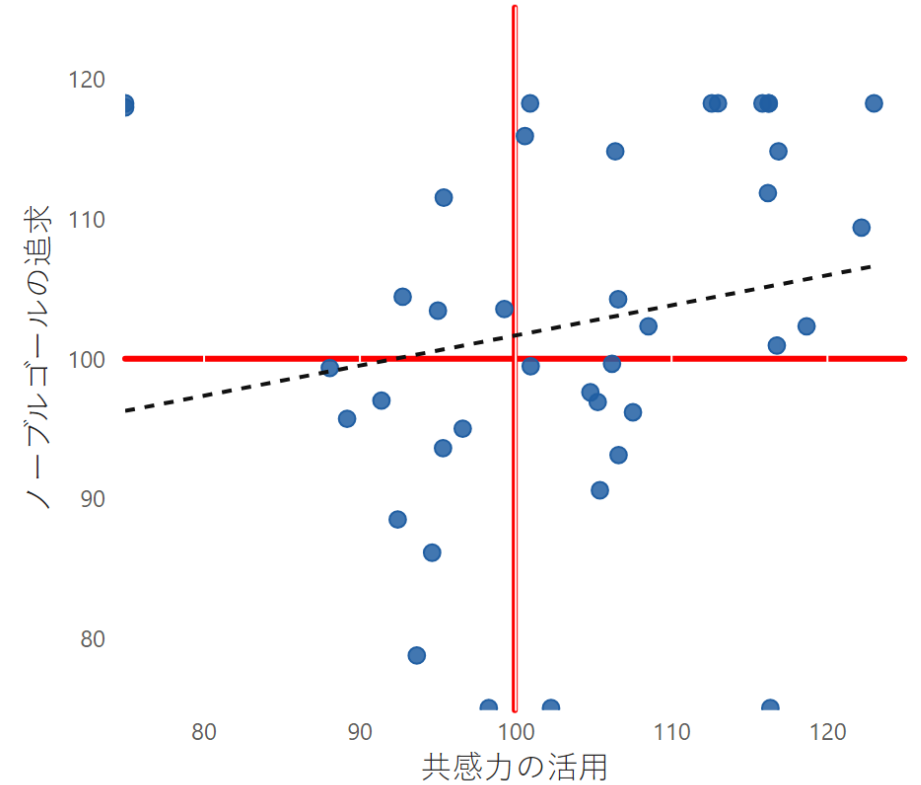
| 象限事故防止準備度             | 人数 | 構成比 (%) |
|-----------------------|----|---------|
| 第1象限 (高リテラシー & 高自己認識) |    |         |
| 第2象限 (高リテラシー & 低自己認識) |    |         |
| 第3象限 (低リテラシー & 低自己認識) |    |         |
| 第4象限 (低リテラシー & 高自己認識) |    |         |
| 合計                    |    |         |



共鳴型リーダーシップ分析（本プロジェクト）  
共感力の活用xノーブルゴールの追求



共鳴型リーダーシップ分析（本プロジェクト）  
左グラフから感情のナビゲート\_熟練レベル以上



共鳴型リーダーとはシックスセカンズEQモデルのコンピテンシーである、「感情のナビゲート」「共感力の活用」「ノーブルゴールの追求」が高いレベルにある状態を示します。

他者への想いや考えをくみ取り、他者のために動ける共感性の高さと、自らの志・夢や理想の達成に向けて活動し続けられている行動力を持ち、適切な感情を選びかえる力である「感情のナビゲート」がこの両面を支えている状態です。

共鳴型リーダーのレベルが高いと、自らの理想を貫きながら他者の想いを支えていき、自らも含め周囲の可能性を引き出していけるリーダーとなります。

上左の散布図は共感力の活用とノーブルゴールの追求であり、上右はそこから感情のナビゲートが熟練レベル以上の方だけを抽出しています。

共鳴型リーダー分布  
本プロジェクト

| レベル         | 人数         | %              |
|-------------|------------|----------------|
| 1.未開発レベル    | 8          | 4.62%          |
| 2.開発過程レベル   | 52         | 30.06%         |
| 3.標準レベル     | 90         | 52.02%         |
| 4.熟練レベル     | 17         | 9.83%          |
| 5.エキスパートレベル | 6          | 3.47%          |
| 合計          | <b>173</b> | <b>100.00%</b> |

共鳴型リーダー分布  
[Redacted]

| レベル         | 人数         | % |
|-------------|------------|---|
| 1.未開発レベル    | [Redacted] |   |
| 2.開発過程レベル   |            |   |
| 3.標準レベル     |            |   |
| 4.熟練レベル     |            |   |
| 5.エキスパートレベル |            |   |
| 合計          |            | 6 |

共鳴型リーダーとはシックスセカンズEQモデルのコンピテンシーである、「感情のナビゲート」「共感力の活用」「ノーブルゴールの追求」が高いレベルにある状態を示します。他者への想いや考えをくみ取り、他者のために動ける共感性の高さと、自らの志・夢や理想の達成に向けて活動し続けられている行動力を持ち、適切な感情を選びかえる力である「感情のナビゲート」がこの両面を支えている状態です。

共鳴型リーダーのレベルが高いと、自らの理想を貫きながら他者の想いを支えていき、自らも含め周囲の可能性を引き出していけるリーダーとなります。

# BBP:ブレインスタイル分布 SAMPLE

\*「BBP:ブレインスタイル分布」はSEIリーダーシップレポートおよびブレイン・ブリーフ・プロファイルの両方の受検を設定、完了している場合に作成します。  
(SEIリーダーシップレポートのみ、ブレイン・ブリーフ・プロファイル受検のみのプロジェクトでは分析レポートは作成できません。)

BBP ブレインスタイル分布(本プロジェクト)

BBP ブレインスタイル分布( )

